

● 経緯 PTAから学長への要望「教育を学ぶ学生に自閉症児の学びを体験してほしい！」

ねらい

- ＜自閉症児＞ ●交流経験の広がり
- ＜筑波大学生＞ ●自閉症児の学習プロセスの体験、及び自閉症児者を取り巻く生活の理解・啓発

メリット

- ・自閉症児者の生活の理解・啓発
- ・インクルーシブ教育の実践力（企画・運営力、協調・調整力等の獲得など）

令和7年度

➤ 時期 2025年8月23日（土）～24日（日）

➤ 内容

●1日目

- 13:00 集合、オリエンテーション
- 13:30 学生へのレクチャー
 - ①自閉症児と関わるにあたって
 - ②自閉症児の家庭生活（保護者）
- 14:30 児童と大学生の顔合わせ、おやつ
- 15:30 翌日の活動準備
- 16:30 本日のまとめ、明日に向けて
- 17:00 夕食 ＊学生のみ
- 21:00 入浴、就寝 ＊学生のみ



●2日目

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- 8:45 学生集合・オリエンテーション
- 9:30 児童登校
- 10:00 始まりの会
- 10:30 海で遊ぼう／やぎのふれあい体験
- 12:00 昼食
- 13:00 思い出アート作り
- 14:45 終わりの会
- 15:00 終了



初回は学校と保護者が主導

➤ 参加者

●筑波大学

- ・希望する障害科学域の研究室の学生・大学院生12名

●附属久里浜特別支援学校

- ・希望する親子、PTA、おやじの会12組（36名）
- ・教員ボランティア9名

●みちくさラボ

- ・横須賀でのやぎのふれあい体験
- ・全国から6名のボランティアの参加

令和8年度以降～

将来的には、学生主導で継続的に企画・実施できたら・・・

将来的には、人間系の学生で「自閉症」をキーワードにキャンプと研究を関連できたら・・・

活動の候補

●附属久里浜特別支援学校

- デモホーム、1号館、プール、室内施設
- ・水遊び、プールでカヤック練習、バーベキュー、ピザ作り、お祭り（すいか割り、綿菓子づくり、ポップコーン作り、かき氷）、うどん作り体験（うせいさん）、輪投げ、手作りボーリング、ボッチャ、Tボール、オリエンテーリング・・・

●国立特別支援教育総合研究所

- ・裏山、トランポリン、体育館・・・

●横須賀・三浦地域

- 花の国、野比海岸、三浦YMCAグローバルエコビレッジ
- ・遊具遊び、磯遊び、カヌー、飯盒炊飯、じゃぶじゃぶ池、芝そり、パン作り、お風呂、ピザ作り、キーホルダーづくり、おもしろ自転車、スワンボート、動物ふれあい・・・

●筑波大学の資源

- ・美術・芸術・アート ・体育・スポーツ ・テクノロジー

5月末、筑波大生と自閉症児家族向けに参加者募集

筑波大生向け募集ちらし

筑波大学
University of Tsukuba

自閉症の子どもたちの
踏み出す一歩 つながる 勇気！
これから教育や療育に関わる人には必須！

サマーキャンプに 参加しませんか？

自閉症のお子さんの保護者や教員の体験談を実際に聞いてみませんか？

自閉症の子どもたちとの接し方を学びませんか？

自閉症のある子供は、教室に一人程度いると言われています。皆さんが将来、何かしらの仕事をしていくうえで、必ず接すると言っても過言ではありません。このサマーキャンプに参加して、自閉症の子どもたちの「よさ」や「可能性」に触れてみませんか？貴重な経験ができることをお約束します。皆様の参加をお待ちしております。

2025年8月23日（土）、24日（日） | 泊2日

➤ 場所 筑波大学附属久里浜特別支援学校（神奈川県横須賀市野比5-1-2）

➤ 対象 ●筑波大学附属久里浜特別支援学校児童 10名程度
●自閉症の教育や療育に興味のある筑波大学生 10名程度

➤ 交通・宿泊 各自公共交通機関利用、久里浜特別支援学校デモホーム

➤ 費用 約2,000円（素泊まり宿泊費、保険等） ※別途食費が掛かります
※交通費の補助が出ます

➤ 申込締切 2025年6月30日（月）

➤ 申込方法

主な内容（検討中）

- 1日目～保護者と教員による自閉症レクチャー／自己紹介／研究所トランポリン／おやつ
- 2日目～海で遊ぼう／昼食／思い出アート作り

問い合わせ先

【主催】附属久里浜特別支援学校PTAとおやじの会
【お問い合わせ先】筑波大学附属久里浜特別支援学校 工藤久美
【電話】046-848-3444
【メール】kumi@kurihama.tsukuba.ac.jp

筑波大学
University of Tsukuba

自閉症の子どもたちの
踏み出す一歩 つながる 勇気！
出会いが子どもたちの世界をひろげる！

サマーキャンプに 参加しませんか？

大学生に、自閉症のお子さんの生活について知ってもらいませんか？

大学生と一緒に活動してみませんか？

自閉症のある子どもが、地域社会で安心して暮らすためには、いろいろな人たちに、自閉症の子どもたちの感じ方や理解の仕方について知ってもらうことが欠かせません。このサマーキャンプに参加して、自閉症の子どもたちに関心をもっている大学生と一緒に活動してみませんか。皆様の参加をお待ちしております。

2025年8月23日（土）、24日（日）

➤ 場所 筑波大学附属久里浜特別支援学校（神奈川県横須賀市野比5-1-2）

➤ 対象 ●筑波大学附属久里浜特別支援学校 幼児児童保護者 10組程度
●自閉症の教育や療育に興味のある筑波大学生 10名程度

➤ 費用 500円（おやつ、活動材料費）

➤ 申込締切 2025年6月30日（月）

➤ 申込方法 GoogleフォームまたはQRコードより申し込んでください。
<https://forms.gle/Jhm5PcRhzmUo3hrc7>

主な内容（検討中）

- 1日目～保護者と教員による自閉症レクチャー／自己紹介／研究所トランポリン／おやつ
- 2日目～海で遊ぼう／昼食／思い出アート作り

問い合わせ先

【主催】附属久里浜特別支援学校PTAとおやじの会
【お問い合わせ先】筑波大学附属久里浜特別支援学校 工藤久美
【電話】046-848-3444
【メール】kumi@kurihama.tsukuba.ac.jp

サマーキャンプに興味をもってくれた学生と家族より、定員を超える参加申し込みがありました

活動助成をいただきました

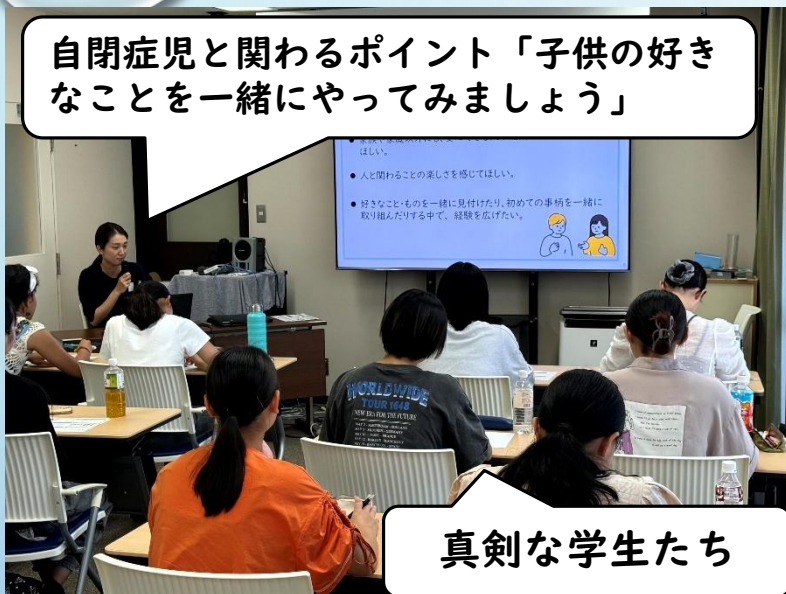
- 全国国立大学附属学校PTA連合会PTAカンガルーシップ活動助成
- 教育長裁量経費

自閉症児家族向け募集ちらし

IMAGINE THE FUTURE.

【1日目】教員と保護者によるレクチャー「自閉症児との家庭生活」

自閉症児と関わるポイント「子供の好きなことを一緒にやってみましょう」



ペアで交流する子供の保護者から直接話を聞きました



家庭で困っていることやうれしいことについて話を聞きました



保護者も率直にお話ししてくれました

グループで話し合いを深めました



学生からは「直接保護者から話を聞くことができ、自閉症児の理解が深まった」「明日からの関わりに生かしたい」などの感想がありました



【2日目】 海で遊ぼう／やぎさんとふれあおう／思い出アート

海で遊ぼう



やぎさんとふれあおう



思い出アート作り



お弁当



自由時間にボール遊び



おやつタイム



来年もサマーキャンプで会いましょう！

全員集合写真



IMAGINE THE FUTURE.

参加者の声

初めての学生さんと活動することは難しいだろうと思っていましたが、活動を通して、少しずつ子供の心が開いていく様子を見て、いつもの場所や人じゃなきゃダメだと親の私が思い込んでいるところもあるかもしれないことに気付きました

保護者の実際の苦労やうれしいことについて生の声を聞き、自閉症児の理解を深めることができました

自閉症と言っても子供によって特性もコミュニケーションの取り方もそれぞれであることを実感できました

大学生に、自閉症児の実態を、親の状況込みで知ってもらえたことがすごくありがたいと思いました

一緒に参加していたきょうだい児に関する興味も広がりました

